



# 東陽の旋風<sup>かぜ</sup> ～自律貢献～

令和5年6月2日（金）No 8 発行  
文責：松本 卓也

## 「認め、ほめ、励まし、鍛えて、伸ばす」～家庭学習のススメ～

昨年度の i-Check（総合質問紙調査）で明らかになった本校の課題である「学習習慣の形成（家庭学習の習慣化）」。課題を克服するために、2学期より「toyo スタディタイム」と「チャレンジタイム」で課題克服を目指してきました。

【i-Check（総合質問紙調査）】R4.12.1 実施（熊本県、八代管内が重視する6つの指標より抜粋）

指標	質問内容	現2年生	現3年生
八代	学校の授業以外で、週に何日くらい勉強していますか。 ※ほぼ毎日	45.50 △	33.3 ≍
県	勉強するときは自分で計画を立てていますか。 ※肯定率	45.5 ▼	33.3 ▼
県	家で学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていますか。（そのままにしている割合） ※5の割合	0.0 △	11.1 ▼

※全国または県に対し、「プラスを△、マイナスを▼」で表示

- ① toyo スタディタイム：毎日の家庭学習を自ら計画を立てて、決まった時刻（一定の時間）に学習する取組
- ② チャレンジタイム：5教科の基本事項を朝自習と家庭学習の時間を活用して定着を図る取組

今年度も、4月から「toyo スタディタイム」を、5月23日（火）から「チャレンジタイム」を始めました。1回目の教科は社会、1年生で最初に習う地理的分野の重要語句30個を覚えることに挑戦しました。目標達成のため、これまで朝自習で2回、さらに家庭学習の時間に学びを進めてきました。31日（水）のチャレンジテストでは、予定時間よりも早く書けた子どもたちが多く、意欲の高まりを感じました。学習習慣の形成には、学校と家庭との連携が欠かせません。以下に記載しましたように、ご家庭のご協力をいただきながら取り組んでまいります。お子様の学びの姿について、ご家庭で話題にしていただければ幸いです。

連携

学校

家庭

### 【授業と家庭学習をつなげる】

- 授業中に家庭学習につながる声かけをしたり、学習内容等を示したりする。
- 生徒自身が更なる問い（もっとやってみよう）を見つけられるような声かけを行う。
- 学校で、その日の学習内容について計画を立てさせる。（**toyoスタディタイム**）
- 【やる気を引き出す】
- 個に応じた家庭学習を出す。（スタディサプリ、**チャレンジタイム**）
- 頑張りを認める。次につながるアドバイスをする。



「家庭ではどのようなことをすればいいか？」方法や内容等を具体的に支援

### 【ペースメーカー】

- 学習を促したり、生活環境を整えたりすることで、規則正しい学習や生活の習慣形成を支援する。
- 【サポーター】
- 子どもが学習から逃げたくなったり、自信をなくしたりしたときに、アドバイスしたり話し相手になったりして、心の支えになる。
- 【ファシリテーター】
- 教材の準備や学習スペースの確保、静かな時間の保障などの条件整備を通して、良好な学習環境を構成する。



家庭学習の効果を高める学習環境等、側面からの支援

引用：「熊本の学び推進プラン」  
家庭学習のポイント（学校編）  
熊本県教育委員会



引用：「家庭学習を習慣化することで育つ  
自己マネジメント力を生涯の宝に」  
田中博之 早稲田大教職大学院教授  
VIEW21 小学版 2013 Vol.3

※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）